

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
臨床実習 I		必修	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
三科 貴博 他	D317	t-mishina	火曜日 12:10 ~ 13:00		
授業の目的・概要	<p>学外実習協力施設にて、理学療法士の業務内容と役割について学び、理学療法並びに医療従事者について理解することを目的とする。</p> <p>学内では理学療法士を志す学生として相応しい態度、目標シート、ポートフォリオの作成方法等を指導する。学外では個々の目標に応じて能動的に学び、学外実習後にポートフォリオの作成と発表によって理解を深める。</p>				
学習上の助言	<p>学外施設の協力によって成り立つ実習であるため、丁寧な言葉遣いや清潔感のある身だしなみが必要となる。また、実際の理学療法を見学できる機会であるため、能動的に行動することが求められる。</p>				
教科書	理学療法 臨床実習サポートブック/著：岡田慎一郎、上村忠正 他/出版社：医学書院				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	実習施設について説明できる			PT (1)	
②	実習の目標を立案できる			HSU (4)	
③	実習の記録ができる			PT (1)	
④	実習内容に基づいて自己の成長を確認することができる			HSU (4)、(5)、PT (6)	
⑤	理学療法士の役割と業務内容を説明できる			PT (1)	
⑥	医療従事者としての倫理観・コミュニケーション能力について理解できる			HSU (1)、PT (3)	
授 業 計 画					
<p>[学内実習内容]</p> <p>11月下旬：臨床実習 I のオリエンテーションを行い、実習の心構えや注意点の指導、ポートフォリオ作成方法について講義を受ける。</p> <p>12月中旬：目標シート並びに実習施設レポートを提出する。</p> <p>12月下旬：身だしなみの確認を行う。</p> <p>[学外実習内容]</p> <p>実習期間は夏季休業中の 1 週間とし、学外実習協力施設にて実習を行う。主な注意点を下記に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 実習施設の規則を遵守し、指示に従うこと</li> <li><input type="checkbox"/> 予め立案した目標を達成できるように能動的に行動すること</li> <li><input type="checkbox"/> 実習記録を作成し、次の日に実習指導者に提出すること(最終日の記録は指導者への提出は不要であるが、作成すること)</li> <li><input type="checkbox"/> 適宜、必要な事項について予習・復習を行うこと</li> </ul> <p>[実習終了後]</p> <p>後期開始前：実習の経験に基づき、実習の振り返りと実習の課題を行い、実習報告用のプレゼンテーション資料を作成する。</p> <p>後期開始後：①実習報告を各グループで行う。なお、各グループ内で日程を調整すること。 ②臨床実習アンケートに回答する。</p>					
事前事後学習内容・必要時間					
<p>実習前に前期で学習した内容を復習すること。</p> <p style="text-align: right;">必要時間 (単位：時間)： 3 時間</p>					

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	10	10	50	30	
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	5	5	20
	思考・推論・創造する力	0	0	0	15	5	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	5	10	5	20
	コミュニケーション力	0	0	5	0	5	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	15	5	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	5	5	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	実習を行う施設の概要についてレポートにまとめる。レポートの要点は以下の通りである。 <input type="checkbox"/> どの病気で理学療法を行っているのか?(急性期・回復期・生活期) <input type="checkbox"/> 施設の理念や考え <input type="checkbox"/> 病床数や診療科目などの基本情報 <input type="checkbox"/> リハビリテーション科のスタッフ数 <input type="checkbox"/> どのようなリハビリテーションを提供しているのか? など実習施設の概要がわかるように記述すること。実習施設の情報はホームページ等を活用すること。				点数化して返却する。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	実習終了後に、ポートフォリオに準じて学習内容をまとめて発表する。発表方法はパワーポイント等を用いて時間は1人5分程度とする。評価内容は、話す声の大きさ、話す内容、資料の見やすさ、実習内容に基づいたプレゼンとなっているか等とする。				プレゼンテーションの評価結果を返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
ポートフォリオ	①	✓	クリアファイルに目標シート、実習前レポート、実習記録、実習の振り返り、実習の課題をまとめること。 評価基準は立案した目標に整合性があること、実習の経験に基づいて振り返り・課題が実施できていること、誤字脱字がなく丁寧に記述できていること等とし、ルーブリックは事前に掲示する。				点数化して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
その他	①	✓	実習中の取り組みについて実習指導者からの学生に対する評価・コメントを基に学内にて評価する。				実習指導者からのコメントを返却する。
	②						
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
講義や学外実習の詳細な時期については、1月中旬から3月中旬の間に提示する。 担当教員：◎三科 貴博、高村 浩司、粕山 達也、関口 賢人、高木 大輔、遠藤 悠介、玉木 徹、駒形 純也 他  <b>教員の実務経験</b> ：理学療法士として複数名の臨床実習指導の経験を有している。 <b>実践的授業の内容</b> ：臨床実習で多くの学びを得るために、目標シートや振り返りシートを活用して学習を支援する。							